

【プレスリリース】

2016年10月6日

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

テュフ ラインランド ジャパン、

「風力発電機の耐用調査サービス」を開始

ー 耐用年数をむかえる風力発電機の増加に伴う試験需要増に備え ー

テュフ ラインランド ジャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:トビアス・シュヴァインフルター)は、本日、稼動 20 年以上の風力発電機を対象とした、「風力発電機の耐用調査サービス」を開始したことを発表しました。このサービスは、オンサイト検査と、過去の運転履歴や風況のデータ分析により、風力発電機の残りの稼動可能年数を推定するものです。

一般的に、風車の稼動可能な耐用年数は 20 年といわれています。耐用年数をむかえる風車について、安全に運転を継続できるかどうかを調査することは、非常に重要です。運転をあと何年継続することが可能か、あるいは停止・解体しなければならないのか、その判断材料のひとつになるのが、第三者検査機関による調査結果です。

ヨーロッパでは、このような調査が法的に義務付けられている国もあり、テュフ ラインランドは、ドイツを中心に本サービスを提供してきました。この数年で、日本においても耐用年数をむかえる風車が増加することから、その需要に応えるべく、本サービスの提供を開始しました。

調査は、オンサイト検査とデータ分析の 2 つの段階に分かれています。オンサイト検査では、検査員がウインドファームへ出向き、風車の状態を確認します。主な検査箇所は、タワー、基礎、主要機器、油圧機器、安全装置、センサー、ブレーキ、コントロールシステム、メインフレーム、ブレードです。動作状況、ダメージ、漏れ、磨耗、腐食、クラック、そして異音などを確認します。また、ギアボックスやメインベアリングのギアやベアリングの状態について、内視鏡を使って内部を詳細に確認します。そして、ギアボックスのオイルサンプルを採取し、金属磨耗の状態、添加物、混入物質などを確認し、分析結果をレポートにまとめます。

データ分析では、設計図書と風車の現状を比較して、疲労の状況などを分析します。分析には、稼働時間、運転状況、発電量、ロータースピードと風速値、メンテナンス履歴、修復履歴などのデータを活用します。

そしてオンサイト検査とデータ分析の総合的な判断により、レポートが発行されます。レポートには、風車の安定性および耐久性に関する診断結果が明記され、過去の運転履歴や風況も参考にしながら残りの稼働可能年数を推定します。すでに、エコ・パワー株式会社グループが山形県に運営する、運転期間 20 年のウインドファーム「たちかわ風力発電研究所 第 1・第 2 発電所」で調査を実施しています。

テュフ ラインランド ジャパンは、今後も、日本の安全かつ安定した風力発電に貢献できるよう、サービスを提供してまいります。

■エコ・パワー株式会社

日本初の風力発電専門企業

www.eco-power.co.jp/

【テュフ ラインランド グループについて】

テュフ ラインランドは、140 年の歴史を持つ世界でもトップクラスの第三者検査機関です。世界中に拠点を持ち、従業員数は 19,600 人、年間売上高は 19 億ユーロにのびります。第三者検査のエキスパートとして、人々の暮らしのあらゆる面で、品質、安全、環境、テクノロジーを支えています。産業用装置や製品、サービスの検査だけではなく、プロジェクト管理や企業のプロセス構築もサポートしています。また幅広い業種、職種について、専門的なトレーニングも実施しています。こうしたサービスは、テュフ ラインランドの認定ラボや試験設備、教育センターのグローバルネットワークによって支えられています。テュフ ラインランドは、2006 年より国連グローバル・コンパクトのメンバーとして活動しています。ウェブサイト: www.jpn.tuv.com

【報道関係者からのお問い合わせ先】

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

マーケティング部広報課 吉家 由貴子、中村 雅之、井田 美穂

E-mail: pr@jpn.tuv.com Tel: 045-470-1860